

2022年度

第54回東北学生アーチェリー
個人選手権大会

大会参加要項

東北学生アーチェリー連盟
大会委員長 福地 唯史
総務委員長 岩間 永樹

1、主催

東北学生アーチェリー連盟

2、期日

2022年8月17日(水) 午前：公開練習、午後：Qualification Round
18日(木) Elimination Round / Final Round

3、日程

8月17日(火) 公開練習・オリンピックラウンド予選ラウンド

8:45 送迎バス出発
9:30 選手・役員集合
10:50 受付開始・弓具検査(~11:30)
11:40 公開練習開始
12:25 公開練習終了・休憩
12:45 開会式

<Qualification Round>

12:55 フリープラクティス
13:10 70m1ラウンド目競技開始
14:40 競技終了
14:55 70m2ラウンド目競技開始
16:25 競技終了
16:45 異議申し立て

8月18日(水) オリンピックラウンド決勝ラウンド

8:15 送迎バス出発
9:00 役員・選手集合
9:15 練習レーン解放(男女フリー練習)~10:00

<Elimination Round>

10:00 男子1回戦
10:40 男子2回戦・女子1回戦
11:20 男子3回戦・女子2回戦 (参加人数により変更の可能性あり)

<Final Round>

12:00 男女準決勝戦
12:30 昼休憩
13:10 男子3位決定戦
13:40 女子3位決定戦
14:10 女子決勝戦
14:40 男子決勝戦
15:30 異議申し立て
16:00 閉会式

※進行状況、参加人数等によりタイムスケジュールに変更が生じることもありますので、ご了承ください。

4、式次第

開会式

- 1.選手整列
- 2.開会宣言
- 3.優勝杯返還
- 4.大会委員長挨拶
- 5.DOS 注意
- 6.選手宣誓
- 7.選手退場

閉会式

- 1.選手整列
- 2.成績発表
- 3.表彰
- 4.大会副委員長挨拶
- 5.閉会宣言
- 6.選手退場

5、会場

秋保リゾートホテルクレセント森林スポーツ公園 総合グラウンド
仙台市太白区秋保町湯元青山33-1

6、競技種目

オリンピックラウンド（全日本アーチェリー連盟公認）

7、競技規定

全日本アーチェリー連盟競技規則
詳細については巻末に付してあります。

8、表彰

男女共にベスト4

9、交通

仙台駅東口から送迎バスを出します。
17日は8:30、18日は8:00までに仙台駅東口に集合してください。
(料金 1日¥1000)
バス代は当日現地でお支払いいただきます。

10、申込み方法

添付したエントリー用紙兼保険申込用紙に必要事項をご記入の上、期限までに総務委員長(岩間)までEメールで提出してください。

メールでのエントリーの場合には、総務委員長からエントリーを確認したという旨の返信があるので、必ずご確認ください。返信がない場合はご連絡ください。

期日までにエントリーシートがこちらで確認できない場合には、大会の参加を認めな

いものと致しますのでご注意ください。

《期限》

2022年8月4日(木) 必着

《提出先》

東北学生アーチェリー連盟 総務委員長 岩間 永樹

E-mail : tsaf54.iwama.soumu@gmail.com

1 1、費用

2,000 円 (2 日間の保険料込み)

※送迎バスを利用される方は 1,000 円×(利用する日数)が別途必要となります。

※バス代は当日現地でお支払いいただきます。

上記のエントリー費は、それぞれ以下の期日までに学連口座へお振込み下さい。
なお、財務関係で不明な点は財務委員長(兵頭)まで御連絡下さい。

《期限》

2022年8月5日(金) 必着

《口座》

七十七銀行本店 100-698-6650 東北学生アーチェリー連盟

《財務連絡先》

東北学生アーチェリー連盟 財務委員長 兵頭 正子

E-mail : tsaf54.hyodo.zaimu@gmail.com

1 2、注意事項

- 競技場内は禁煙です。
- 看的用紙は丁寧^に記入して下さい。判読不能となった場合は0点とします。
- エントリーのキャンセルについて

原則的にエントリー後のキャンセルや追加は受け付けません。止むを得ない理由で出場を辞退する場合は、速やかに申し出て下さい。

なお、試合 1 週間前以降のキャンセルの場合はエントリー費をお返すことは出来ませんので、あらかじめご了承下さい。

<新型コロナウイルス感染症に関して>

本大会を行う上で感染症の予防の観点から次の点に注意してください。

- ・大会中も日頃から各自が行っているコロナ対策を行ってください。
- ・準備、矢取りの際にはマスクを着用するようにしてください。
- ・体調が優れない場合にはすぐに役員に知らせてください。

また、大会当日は各自検温を行っていただき、万一発熱があった場合には、申し訳ありませんが参加を辞退するようお願いいたします。

1 3、インカレ選考

- ・本大会優勝者は全日本学生アーチェリー個人選手権に地区推薦枠で出場することができます。
- ・選手に出場意思がない場合、出場権は次位に者に移ります。
- ・地区推薦枠以外の出場者は各地区 70 m W（東北地区は Qualification Round を用いる）の結果に基づく点数選考により選出されます。

1 4、連絡先

ご不明な点がありましたら、下記の連絡先までご連絡下さい。

東北学生アーチェリー連盟 総務委員長 岩間 永樹

E-mail : tsaf54.iwama.soumu@gmail.com

** 競技方法 **

<公開練習>

- ・公式練習は競技前日の決められた時間内に限り行う事ができる。なお、公式練習の1エンドの制限時間は3分間とする。
- ・選手は自由に好きな距離（70 m 的と近射的）を行射することができる。

<本選（オリンピックラウンド）>

予選ラウンド

◎Qualification Round

- ・行射は男子・女子ともに70 m 36射を2ラウンド、計72射で行う
- ・行射は、1エンドにつき6射、制限時間は3分間とする。
- ・当日競技開始前に3分間のフリープラクティスをAB同時射ちで行う。
- ・競技はAB同時射ちとする。制限時間後、両者が同時に矢取りを行う。
- ・従来弓具破損への処置として付与していた、15分の時間外処理のための時間が、2022年度の全日本アーチェリー連盟の競技規則から廃止されました。

(なお怪我等医学的事由が発生した際は、行射を一時停止することがあります。)

- ・Elimination Round には、Qualification Round の上位選手が出場できる。(参加人数によるため、上位何名が出場可能かは現時点では未確定。→**参加人数が決まり次第追って連絡します。**)
- ・Elimination Round 出場のボーダーとなった選手が複数名いる(同点)の場合、70 m において制限時間30秒で1射のシュートオフを行う。同点の場合は中心からの距離で勝敗を決する。

決勝ラウンド

- ・すべての行射は、70 m の射距離で122 cm の標的を用いて行う。
- ・競技者の用具の破損があっても制限時間は延長されない。ただし競技者はその制限時間内において、シューティングラインを離れて用具を修理し行射を再開することができる。

- ・競技はセットシステムで勝敗を決する。各エンドの勝者が2ポイント、引き分けは両者1ポイント、として各競技規定のポイントを先取した競技者が勝者となる。

◎Elimination Round

- ・ Elimination Round に進出した選手がトーナメント表に従って振り分けられる。
- ・ Elimination Round は3射5セットで行ない、先に6ポイント先取した競技者が勝者となる。
- ・ 最終セットを終えて同点の場合、一回のみシュートオフを行ない（同点なら距離判定）、勝者に1ポイント与え、そのマッチの勝者とする。
- ・ 1回戦及び、男子2回戦は、1対戦につき1標的を使用して行う。
- ・ 準々決勝戦は1競技者につき1標的を使用して行う。

◎Final Round

- ・ Final Round は3射5セットで行ない、先に6ポイント先取した競技者が勝者となる。競技者は20秒以内に1射ずつ交互に行射する。
- ・ Final Round では全ての対戦は1人につき1標的を使用して行う。
- ・ 競技者の用具の破損があっても制限時間は延長されない。
- ・ 競技者はアーチャーズエージェント（代理人：競技者に代わって得点の確認、承認を行う）を指名しなければならない。なお、ランナー（矢取り員：競技者に代わって矢取りを行う）は競技者の指名した者、もしくは学連役員が行う。
- ・ 決勝および3位決定戦で点数が同点の場合、制限時間30秒で1射のシュートオフを行う。同点の場合は中心からの距離で勝敗を決する。行射はそれまでと同じように交互に行う。この時、はじめに先攻を指定した競技者が先攻となる。

補足

交互射ちのマッチ戦では、予選ラウンドの上位者が第一エンドの行射順序を決定する。次のエンド以降、合計得点の低い競技者が先に行射する。両者が同点の場合は第一エンド先射ちの競技者が先に行射する。

公開練習及び予選、本選においての服装に関して、デニムジーンズやサンダルの着用は認められない。また、着用している上下の衣服の袖や裾をまくって競技に参加することを禁止する。

競技者は、弓を引く時及び引き戻す時、いかなる場合であっても、矢がセーフティゾーンまたは安全管理用設置物（オーバーシュートエリア、ネット、壁等）を超えると審判員が判断するような引き方、戻し方はしてはならない（弓を引く時及び戻す時、矢が上を向きすぎることをしないよう注意のこと）。

審判員が危険と判断するような引き方及び戻し方をしている場合は、試合中もしくは試合後に審判員から注意と射型の改善を求められることがある。

その他に関しては、全ての競技について全日本アーチェリー連盟競技規則に従って行う。

** 競技役員 **
大会委員長 福地 唯史
大会副委員長 佐藤 優衣
競技委員長 近藤 綾香
総務委員長 岩間 永樹

全日本アーチェリー連盟1級公認審判員 前川 雅俊